

教育科目	自動車工学Ⅳ			教育内容	自動車の構造・性能			講義
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2年 国際自動車整備士 学科2年	開講期	前期・後期		授業コマ数	125 コマ	単位数	16 単位
授業目標	1. ガソリンエンジンの仕組み、各装置の構造や作動について理解できるようになる。 2. ジーゼルエンジンの仕組み、各装置の構造や作動について理解できるようになる。 3. シャシの各装置、電装品の構造や作動について理解できるようになる。							
授業概要	1. 自動車の各装置の構造、エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、ステアリング装置、ホイールアライメントなど基礎的な知識と共に、使用される材料、油脂、力学などの特徴を学び、二級自動車整備士（総合）に必要な専門的な知識を学ぶ。 2. 技術革新により必要とされる電子制御技術を学ぶ。							
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期				その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 1回・後期 1回				前期 回・後期 回			
	評定方法 小テスト、定期テスト							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有す							
使用 テキスト等	二級自動車整備士（総合）、二級自動車整備士（二輪）							

教育科目	キャリアアップ講習			教育内容	日本語			演習
学 科 開講学年	国際自動車整備士学科 2 年	開講期	前期・後期		授業コマ数	14 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 留学生が、日本語能力試験 N2, N3 に合格できることを目的とする。 2. 留学生が、初級～上級レベルの日本語力の習得を目指す。							
授業概要	1. 留学生は日本語能力検定二級取得を目標に学ぶ。							
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期				その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 回・後期 回				前期 1 回・後期 1 回			
	評価方法 総合的な評価方法により 100 点満点で評価する。 （1）検定試験合格状況 （2）レポートや課題等の提出物 （3）小テスト等による定着度の評価資料 （4）その他根拠となる資料または方法							
評価基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	日本語能力検定テキスト 自主作成テキスト							

教育科目	キャリア演習Ⅱ			教育内容	就職活動を円滑に行う力を習得する		演習
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	10 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 就職活動を円滑に行う力を養う。 2. マナーの大切さを理解し、社会人としての基本的マナーを身に付ける。 3. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 4. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。						
授業概要	社会人講話や就職活動を通して、社会人に必要な基礎知識や仕事に対する取り組み姿勢について学ぶ。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1 回・後期 1 回		
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。 総合的な評価方法により 100 点満点で評価する。 （１）授業内での実技試験評価 （２）レポートや課題等の提出物 （３）小テスト等による定着度の評価資料 （４）実習やインターンシップ等における報告書 （５）その他根拠となる資料または方法						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	企業体験実習Ⅱ			教育内容	インターンシップ			演習
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期		授業コマ数	14 コマ	単 位 数	1 単 位
授業目標	1. 指定工場・認証工場に出向き、組織面、顧客対応、点検整備、維持管理、日時用業務などに触れて学ぶとともに、集団・社会行動に必要なルールを理解できるようになることを目的とする。							
授業概要	1. 自動車の最新技術を学ぶ。 2. インターンシップを通じて、現場での整備士の仕事について学ぶ。 3. 整備工場（認証工場・指定工場）での実習とする。							
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期		その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回	後期	回	前期	回	後期 1 回
	評価方法 総合的な評価方法により 100 点満点で評価する。 （1）レポートや課題等の提出物 （2）実習やインターンシップ等における報告書 （3）その他根拠となる資料または方法							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等								

教育科目	工業・社会Ⅱ			教育内容	企画マネジメントⅡ（学園祭）式典参加、総合体育、企業関連Ⅱ、国家試験対策、		演習
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	19 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 実践的なスキルを身につけ、チームワークやコミュニケーション能力を高めるとともに、企画・運営を通じて創造力や問題解決力を養うことを目的とする。 2. 協力・公正などの態度を育てると共に、健康の維持と体力の向上を図る。 3. 国家二級自動車整備士資格を取得することを目的とする。						
授業概要	1. 学校行事でのチームワークやコミュニケーション能力を高める。 2. 整備士に必要な体力や体の使い方など体育を通して学ぶ。 3. 国家試験合格に向けて、問題解説を実施し、理解度を高める。 4. 学園祭やスポーツ大会を通じ学生間での親睦を深め、大会運営に携わることで自己研磨に励む。国家試験対策を実施し資格取得を目指す。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1 回・後期 1 回		
	評価方法 国家試験対策テスト、レポート等 総合的な評価方法により 100 点満点で評価する。 （１）授業内での実技試験評価 （２）レポートや課題等の提出物 （３）小テスト等による定着度の評価資料 （４）その他根拠となる資料または方法						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等							

教育科目	自動車整備関連Ⅱ			教育内容	エンジン・モータ、シャシ			講義
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期		授業コマ数	20 コマ	単 位 数	2 単 位
授業目標	1. ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの仕組み、各装置の構造や作動について理解できるようになる。 2. 自動車のシャシの仕組み、各装置の構造や作動について理解できるようになる。 3. 点検整備の方法と必要性、自己診断システムを利用した点検について理解できるようになる。							
授業概要	1. 二級自動車整備士（総合）として必要なエンジンの点検・整備や技術革新により必要とされる自己診断システムを利用した点検について学ぶ。 2. 二級自動車整備士（総合）として必要なシャシの点検、整備の方法を理解し、不具合現象から不具合箇所の診断、点検、整備について学ぶ。							
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期		その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1 回		前期 回・後期 回			
	評定方法 小テスト、定期テスト							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	二級自動車整備士（総合）、二級自動車整備士（二輪）							

教育科目	自動車整備関連Ⅲ			教育内容	電装、故障原因探求・電子制御装置			講義
学 科 開講学年	国際自動車整備士 学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	20 コマ	単位数	2 単位	
授業目標	1. ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンの電装品について、各装置の構造や作動について理解できるようになる。 2. 自動車の故障探究の進め方、測定機器を利用した点検について理解できるようになる。 3. 点検整備の方法と必要性について理解を深める。自動車の各装置の構造や作動について理解できるようになる。							
授業概要	1. 二級自動車整備士（総合）として必要な電装品の構造、作動の理解や、各種測定機器を利用した点検、性能試験の結果から故障箇所を判定する方法について学ぶ。 2. 二級自動車整備士（総合）として必要な故障診断の方法や的確な問診、現象の確認、原因の推定及び再発の防止について学ぶ。							
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）				
	小テスト	前期	回・後期					
	評定方法 小テスト、定期テスト							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	二級自動車整備士（総合）、二級自動車整備士（二輪）							

教育科目	自動車整備に関する法規			教育内容	自動車整備に関する法規			講義
学 科 開講学年	国際自動車整備士 学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期		授業コマ数	11 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 道路運送車両法の自動車の検査・点検・整備の基準など自動車に関連した法規制を理解できるようになる。							
授業概要	1. 道路運送車両法の自動車の検査・点検・整備の基準など自動車に関連した法規制を学ぶ。							
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期		その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	回	
	評定方法 小テスト、定期テスト							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	法令教材（一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会）							

教育科目	自動車検査			教育内容	自動車検査			講義
学 科 開講学年	国際自動車整備士 学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期		授業コマ数	11 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 24 か月定期点検の点検・検査項目、各検査項目の目的を理解できるようになる。 2. 道路運送車両法の保安基準について理解できるようになる。							
授業概要	1. 24 か月定期点検の点検・検査項目、各検査項目の目的について学ぶ。 2. 道路運送車両法の保安基準について学ぶ。							
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期		その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	回	
	評定方法 小テスト、定期テスト							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	法令教材（一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会）							

教育科目	自動車整備作業Ⅳ			教育内容	エンジン・モータの点検・分解・組立・調整・検査		実習
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	90 コマ	単 位 数	4 単 位
授業目標	1. 整備作業に対して自主性を持ち、自ら率先して整備技術の向上を図り応用力のある整備ができるようになる。 2. エンジンの電子制御装置を理解できるようになる。 3. エンジンの分解、組み付けを正確にできるようになる。 4. 安全作業に配慮し、迅速に作業ができるようになる。						
授業概要	1. エンジンスタンド上のV型ガソリンエンジンの点検・分解・組立・調整・検査を行う。 2. 整備作業に対して自主性を持ち、自ら率先して整備技術の向上を図り応用力のある整備ができるようにする。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1 回・後期 回		
	評定方法 レポート、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等						

教育科目	自動車整備作業Ⅴ			教育内容	シャシの点検・分解・組立・調整・検査、電子制御装置			実習
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期		授業コマ数	88 コマ	単位数	3 単位
授業目標	1. オートマティクトランスミッションの電子制御を理解できるようになる。 2. シャシ部品の分解、組み付けを正確に行うことができるようになる。 3. 安全作業に配慮し、迅速に作業ができるようになる。 4. 電子制御装置について理解できるようになる。							
授業概要	1. オートマティクトランスミッションの分解整備を行う。 2. サスペンションの脱着及び分解整備を行う。 3. 電子制御装置の作動や整備を学ぶ。 4. 整備作業に対して自主性を持ち、自ら率先して整備技術の向上を図り応用力のある整備ができるようにする。							
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期				その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 回・後期 回				前期 回・後期 1 回			
	評定方法 レポート、定期テスト							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等							

教育科目	自動車整備作業Ⅵ			教育内容	電装の点検・分解・組立・調整・ 検査、故障原因探求		実習
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・ 後期	授業コマ数	110 コマ	単 位 数	4 単 位
授業目標	1. 電気回路を理解し、回路図を読む事ができるようになる。 2. 低圧電気について学び、安全作業ができるようになる。 3. 電装品の脱着作業が、正確及び迅速にできるようになる。 4. エンジン、シャシの電氣的故障を正確に診断し、修理することができるようになる。 5. 故障現象から故障原因を推察することができるようになる。						
授業概要	1. 冷暖房装置の基本構造、点検方法、故障診断 2. 充電装置の車上点検及び単体点検 3. 始動装置の車上点検及び単体点検 4. 整備作業に対して自主性を持ち、自ら率先して整備技術の向上を図り応用力のある整備ができるようにする。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	1 回
	評定方法 レポート、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	修理書、自主作成プリント等						

教育科目	自動車検査作業			教育内容	自動車検査			実習
学 科 開講学年	自動車整備士学科 2 年 国際自動車整備士 学科 2 年	開講期	前期・後期		授業コマ数	27 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 基本的な点検整備ができるようになる。 2. 車両法を理解し、法に添った整備ができるようになる。 3. 点検用診断機器を使用することができるようになる。							
授業概要	1. 検査ラインを使用した検査測定作業 2. 診断機器を使用した点検整備 3. 基本的な点検・整備ができ、必要に応じて診断機器を使用し故障原因を発見できるようにする							
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期		その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 1 回			
	評定方法 レポート、定期テスト							
評定基準	『坪内学園教務規程』による							
教科科目と 担当者の関 わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する							
使用 テキスト等	法令教材、定期点検整備記録簿、自主作成プリント等							